

## 山口県周南市立和田小学校 ～緊急時対応職員研修～

独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下「JSC」という。）では、学校における事故防止の取組に活用できる教材や資料を、災害共済給付Web等で提供しています。

山口県の周南市立和田（しゅうなんしりつわだ）小学校（以下「和田小学校」という。）で昨年12月、養護教諭の大垣先生が講師となり、これらの資料を活用して、教職員を対象とした「緊急時対応職員研修」が行われました。また、この度、校内研修の中で「なくそう！学校での事故」と題し、JSCが事故防止について説明をさせていただく機会を得ましたので、その様子を併せてご紹介します。



研修会の様子

### 【周南市立和田小学校】



小学校校歌「♪緑だ緑だ 千石のかがやく峰の 青い雲」の歌詞にもあるように、和田小学校は、夏には蛍が飛び交い、秋には紅葉が映える自然豊かな、周南市北西部の山村の学校です。

全校児童16名、教職員7名の小規模校ですが、令和5年度より「周南市立小学校小規模特認校制度」で小規模特認校に認定され、市内のどこからでも入学・転入学できるようになりました。

た。

「神楽」や「ホタルかごづくり」、「一輪挿しの日※」などコミュニティ・スクール活動が盛んにおこなわれ、地域の方との交流の機会が多くあります。学校・地域が一体となり、子どもたちを見守り育む、そんな学校です。

※一輪挿しの日：地域の方たちが学校に切り花を持ってきて、活け方を子どもたちに教えるという行事です。

### 【緊急時対応職員研修（令和4年12月開催）】

和田小学校では、年間を通じて、着衣水泳などの水泳の安全指導、スマホ・携帯の安全教室、スクールカウンセラーによる定期的な授業などの安全教育、指導を行っています。

教職員の研修も定期的に行っており、防災や防犯など、様々なテーマがある中で、今回の研修の大きなテーマとして「学校安全」を選び、直接命に関わるという理由から、AEDや心肺蘇生について研修を行うこととしました。

#### 1. 「緊急時の対応についての意識調査 事前アンケート」

研修を行うに当たり、事前にアンケートを行いました。※（）回答数

学校で救急車を要請する事態が発生したと想定し、その対応について質問します。			
<b>質問1 緊急事態が発生したときの校内体制について理解していますか。</b>			
理解している (3)	やや理解している (2)	あまり理解していない (1)	理解していない (0)
<b>質問2 校内のAEDの保管場所、担架の保管場所、保健調査票の保管場所が説明できますか。</b>			
説明できる (2)	説明できないものがある(4)		
<b>質問3 第一発見者になったとき、あなたは対応できますか。</b>			
できる(4)	ややできる(1)	あまりできない(1)	できない(0)
<b>質問4 何人かの職員で対応するとき、あなたはリーダーになって指示が出せますか。</b>			
できる(2)	ややできる(2)	あまりできない(2)	できない(0)
<b>質問5 何人かの職員で対応するとき、あなたは自分のやるべきことを探し、動くことができますか。</b>			
できる(3)	ややできる(3)	あまりできない(0)	できない(0)
<b>質問6 心肺蘇生(AEDの使用を含む)ができますか。</b>			
できる(4)	ややできる(1)	あまりできない(1)	できない(0)
<b>質問7 救急車を要請することができますか。</b>			
できる(5)	ややできる(1)	あまりできない(0)	できない(0)

また、研修の中で、卓上シミュレーション訓練を計画しており、事故事例を示して、発生時の対応として具体的に何をすべきか、どのような役割分担で行うのか、事前に思いつくものを記入し、提出していただきました。

#### 【事例】

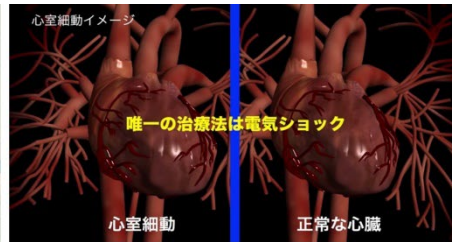
中学年児童。昼休み（13時05分）、運動場でドッジボールをしていた。至近距離から胸部にボールが当たり、後ろ向きに転倒し、後頭部を打つ。意識や反応はあるが、頭の痛みが強く、自力で動けない。

校長と養護教諭は不在。教頭、該当児童担任教諭は職員室へ在室中。

【回答抜粋】	
①該当児童の状況確認⇒手当て⇒119番通報 ②管理職への連絡 ③担任への連絡 ④保護者への連絡 ⑤周囲にいる児童への指示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近くの児童に教頭・担任を呼びに行かせ、ケガをした児童から離れるように指示、救急車の手配。</li> <li>・頭の痛みが強いので、動かさずに意識があるか常に確認する。</li> <li>・頭の痛みのほかに体に変化がないか観察する。</li> </ul>

## 2. 研修内容

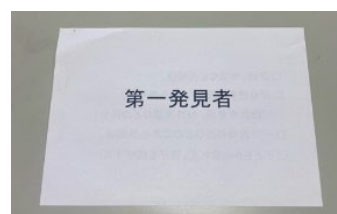
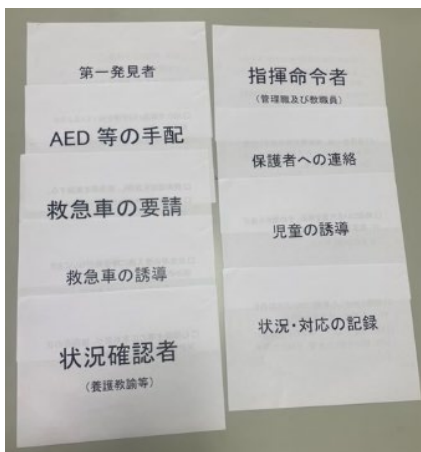
はじめにJSCの提供している映像資料「運命の5分間 その時あなたは～突然死を防ぐために～」を視聴しました。



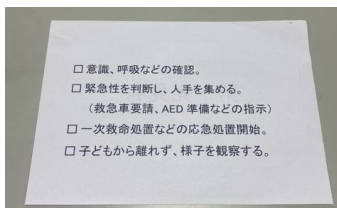
映像資料抜粋画面

次に、事前アンケートでも使用した、事事例を基に行った卓上シミュレーション訓練では、「こんなときはすぐに119番」「傷病事故発生時の初期対応の重要性について」などの様々な資料と、JSCの「スポーツ事故対応ハンドブック」を使用し、検討・検証を行いました。

緊急時の対応に当たっては、アクションカードを使ってシミュレーションを行いました。表面にはアクション主体、裏面には具体的な動きや留意点が書かれています。



アクションカード (表)



アクションカード (裏)

アクションカード

### 3. 「緊急時の対応についての意識調査 事後アンケート」

学校で救急車を要請する事態が発生したと想定し、その対応について質問します。			
<b>質問1 緊急事態が発生したときの校内体制について理解していますか。</b>			
理解している (4)	やや理解している (1)	あまり理解していない (0)	理解していない (0)
<b>質問2 第一発見者になったとき、あなたは対応できますか。</b>			
できる (4)	ややできる (1)	あまりできない (0)	できない (0)
<b>質問3 何人かの職員で対応するとき、あなたはリーダーになって指示が出せますか。</b>			
できる (2)	ややできる (3)	あまりできない (0)	できない (0)
<b>質問4 何人かの職員で対応するとき、あなたは自分のやるべきことを探し、動くことができますか。</b>			
できる (3)	ややできる (2)	あまりできない (0)	できない (0)
<b>質問5 緊急時対応にあたって、アクションカードが役に立つと思いますか。また、その理由があればご記入ください。</b>			
思う (2)	どちらともいえない (3)	思わない (0)	

事後のアンケートでは消極的な回答が無くなり、「できる」「ややできる」の結果となりました。

研修の感想は、次のとおりです。

- ・実際の場になると想定外のことが起きるので、その場で臨機応変に動くことが大切だと思います。
- ・緊急時の対応を、もう一度確認することの大切さを実感できた。私自身がどの役割でも対応できるようにしていきたい。
- ・事故発生時はパニックになると思うが、アクションカードのおかげで落ち着くことができると思う。事故はいつ起きかわからないので、常に意識することは大切だと思った。しっかりチームで対応したい。

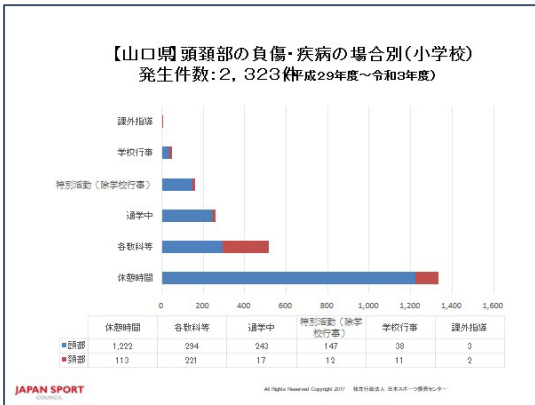
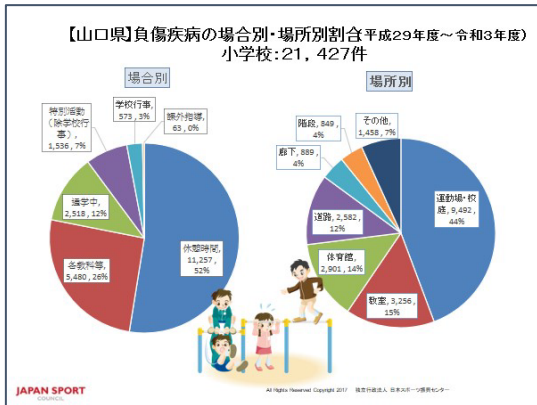
#### 【職員校内研修（令和5年8月開催）】

今回、和田小学校の職員校内研修の中で、JSCの事故防止の情報を提供させていただく機会を得ました。

「なくそう！学校での事故」と題し、山口県の学校の管理下の災害発生状況、食物依存性運動誘因アナフィラキシーと頭頸部外傷の事故防止・対応について説明をしました。

アナフィラキシーについては、養護教諭によるエピペントレーナーで打ち方の実演練習の後、JSCからは、事故事例や予防などの説明を行いました。

頭頸部外傷については、小学校で起こりやすい事故であること、重篤になる可能性があることから、どんな場合に事故が起きているかを示したデータや、事故事例、事故防止の留意点などを提供しました。



**研修資料より抜粋**

研修後、感想をいただきました。

- ・学校で起こりやすい事故やその対策について、具体的な事例や数字を挙げてご説明くださり、新学期を目前に、全員、気が引き締まる思いでした。お話していただいたことを常に頭におき、児童が元気に学校生活を送れるよう、努めていきたいと思えます。
- ・様々な事例や統計結果をご提示下さり、皆、自分ごととして大変勉強になりました。

JSCでは今後も、学校等の現場のニーズに即した事故防止の情報を、わかりやすく提供できるよう努めてまいります。

\*\*\*\*\*

**【参考】**

- ・ [スポーツ事故防止ハンドブック（解説編）](#)
- ・ [スポーツ事故対応ハンドブック（フローチャート編）](#)
- ・ [映像資料：運命の5分間 その時あなたは～突然死を防ぐために～](#)